

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-2022		
目 的	ファッションをビジネス分野から捉えた場合の専門職種である、ファッションの流通・販売・販売促進のスペシャリストを養成する。また、キャリアの中で、商品企画や営業計画の立案に関わることを想定し、ファッション商品の企画から店舗の企画運営までの一連の流れも学習する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門 課程	ファッションビジネス学科 リテールマーチャンダイジング コース	2年(昼)	1816単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	790単位時間 (又は単位)	606単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	420単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数	202人	4人	19人	23人	

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有・無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月8日</li> <li>■夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 (有・無)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア</li> <li>■サークル活動 (有・無)</li> </ul>
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</li> <li>■就職率 92%</li> </ul>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファッションビジネス検定</li> <li>ファッション販売検定 等</li> </ul>

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 26 名 ■中退率 13 %</p> <p>平成24年5月1日在学者 195 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成25年3月31日在学者 169 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a></p>

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00～12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションビジネス論	ファッションビジネスの企画・運営の実際について演習する。	株式会社高田商会
ビジュアルマーチャンダイジング	店舗のビジュアルの重要性を知り、演習をとおしてビジュアルMDについて理解する	株式会社高田商会

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションビジネス学科リテールマーチャンダイジングコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅰ	ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識や商品知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。	1通	240		○	△	
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	グローバルな視点で捉えたファッションビジネスの産業構造や、ファッションマーケティング、ファッションマーチャンダイジングを講義やグループワークにより学ぶ。ファッション商品知識をマップにより学ぶ。	2通	120		○	△	
○			ファッションマーケティング&プランニングⅠ	商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を講義とリサーチにより学ぶ。	1通	60		△	○	
○			ファッションマーケティング&プランニングⅡ	ファッションマーケティングを踏まえ、ショップの企画、トレンドを捉えるセンス、バイイングのノウハウを習得する。	2通	120		△	○	
○			ファッションビジネス論	ファッションビジネスの現状と基礎を学び、動向や情勢の読み方を理解して実践的に活かせる知識を付ける。	2通	120		○	△	
○			リテールマーチャンダイジング	ショップ運営の基本を理解し、販売職を通じてマーケティング感覚を修得する。	2通	120		○		
○			ビジュアルマーチャンダイジング	ショップ運営経験を通じてヴィジュアルマーチャンダイジングの重要性を理解し、同時にショップ運営の各役割の意味を学び、重ねてチームワークと人間力を学ぶ。	2通	60				○
○			ビジネスマナーⅠ	社会人としての基本的なマナーを身につけると同時に立場に応じた正しい言葉づかいを理解し、色々な場面を想定した実践を通じて修得する。サービス接客検定 2級の資格取得を目指す。	2通	60		○	△	

○			ビジネスマナー II	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で必要なビジネス慣習や日々行われている仕事を詳しく知ることに より、就職活動に役立て内定に繋げる。</li> <li>・自分の立場や周りの状況を踏まえた上での自己表現ができ、職場で通用する社会人基礎力を身につける。</li> <li>・サービス接客検定準1級を取得し、接客のプロとして即戦力になれるように学習する。</li> </ul>	2前	30		○	△	
○			ファッションドローイング&デザイン	IT社会に即応した商品企画に必要なアイデアやコンセプトを、平面画(アイテム画)やスタイル画に表現するための、テクニックを修得する。	1通	60				○
○			カラーリング	色彩の基本理解と課題制作を通してファッションに対する意識と実践力を高める。色彩の知識と感覚(感性)をファッションビジネス業界に活用する。	1前	30				○
○			販売技術 I	ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。	1通	60		○	△	
○			販売技術 II	顧客ニーズの開発や顧客づくりを講義とロールプレイングにより修得し、販売職として必要な知識を講義とグループワークにて学ぶ。	2通	60		○	△	
○			服飾素材論 I	ファッションにおいて、もともになるアパレル素材の基礎知識を体系的に修得する。講義後、代表的な生地の特徴をレポートにまとめることにより理解を深める。	1後	30		○		
○			服飾素材論 II	繊維ごとに生地スワッチを収集。マップにまとめることを通じて、素材の機能性・風合いを修得する。アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。	2通	60		○		
○			ファッション史 I	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	1前	30		○		

○			ファッション史Ⅱ	服飾作品の最も基本である人間の身体に対する理解と人体表現の技法を習得する。また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。	2 前	30		○		
○			商品製作Ⅰ	レディスウエアの基本アイテムである、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツ・の構造・製作工程を理解し、洋服に適した素材選択ができる。	1 通	180				○
○			商品製作Ⅱ	洋服の構造、製作工程、シルエットとパターンや素材の関連性等を理解し、ファッションアドバイザーとして、商品のシルエットやコーディネートの意味づけの説明ができる知識を習得する。	2 通	120				○
○			パターンメイキング	各アイテムの1/2製図 スラックス・ラグランスリーブの実寸製図とトワール作製。 各アイテムの基本製図とパターンメイキングを行うことで洋服の構造を理解し、お直しに対応する能力を身につける。	1 後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Point の基本操作を理解し、文書、表計算、プレゼンテーション書類の作成ができる。Adobe Illustrator Adobe Photoshop での画像、イラスト作成できる。	1 通	60			○	○
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1・ 2	20		○		
○			研究発表演習Ⅰ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	56			○	
○			研究発表演習Ⅱ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	60			○	
○			英会話	日常会話をベースに、ファッション関連の用語や表現法、ビジネス対応の会話等を、各状況を設定し、音読、ロールプレイを中心に展開。身近な話題で英語を話すことに慣れる。	2 前	30		△	○	
合計				25科目		1816単位時間				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-2022		
目 的	ファッションをビジネス分野から捉えた場合の専門職種である、ファッションの流通・販売・販売促進のスペシャリストを養成する。また、キャリアの中で、商品企画や営業計画の立案に関わることを想定し、ファッション商品の企画から店舗の企画運営までの一連の流れも学習する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門 課程	ファッションビジネス 学科 ショップマスターコース	2年(昼)	1816単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	790単位時間 (又は単位)	606単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	420単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数	202人	4人	19人	23人	

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有・無) <input checked="" type="radio"/> 有</li> <li>■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月8日</li> <li>■夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 (有・無) <input checked="" type="radio"/> 有</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア</li> <li>■サークル活動 (有・無) <input checked="" type="radio"/> 有</li> </ul>
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</li> <li>■就職率 92%</li> </ul>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 ファッション販売検定 等



<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 26名 ■中退率 13%</p> <p>平成24年5月1日在学者 195名(平成25年4月入学者を含む)  平成25年3月31日在学者 169名(平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由  欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組  担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a></p>

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00～12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションビジネス論	ファッションビジネスの企画・運営の実際について演習する。	株式会社高田商会
ビジュアルマーチャンダイジング	店舗のビジュアルの重要性を知り、演習をとおしてビジュアルMDについて理解する	株式会社高田商会

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションビジネス学ショップマスターコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			ファッションビジネス 理論と演習Ⅰ	ファッションビジネスの基本として、 ファッションビジネス知識や商品知 識の基礎を中心に講義と演習により 修得する。	1 通	240		○	△	
○			ファッションビジネス 理論と演習Ⅱ	グローバルな視点で捉えたファッシ ョンビジネスの産業構造や、ファッシ ョンマーケティング、ファッションマ ーチャンダイジングを講義やグルー プワークにより学ぶ。ファッション商 品知識をマップにより学ぶ。	2 通	120		○	△	
○			ファッションマーケ ティング&プランニング Ⅰ	商品企画書を作る為に必要なファッ ション用語や、市場情報の収集・分析 方法を講義とリサーチにより学ぶ。	1 通	60		△	○	
○			ファッションビジネス 論	ファッションビジネスの現状と基礎 を学び、動向や情勢の読み方を理解し て実践的に活かせる知識を付ける。	2 通	120		○	△	
○			ビジュアルマーチャン ダイジング	ショップ運営経験を通じてヴィジュ アルマーチャンダイジングの重要性 を理解し、同時にショップ運営の各役 割の意味を学び、重ねてチームワーク と人間力を学ぶ。	2 通	60				○
○			ビジネスマナーⅠ	社会人としての基本的なマナーを身 につけると同時に立場に応じた正し い言葉づかいを理解し、色々な場面を 想定した実践を通じて修得する。サー ビス接客検定 2級の資格取得を目指 す。	1 通	60		○	△	

○			ビジネスマナー II	社会に必要なビジネス慣習や日々行われている仕事を詳しく知ることで、就職活動に役立て内定に繋げる。 自分の立場や周りの状況を踏まえた上での自己表現ができ、職場で通用する社会人基礎力を身につける。 サービス接客検定準1級を取得し、接客のプロとして即戦力になれるように学習する。	2前	30		○	△	
○			ファッションドローイング&デザイン	IT社会に即応した商品企画に必要なアイデアやコンセプトを、平面画(アイテム画)やスタイル画に表現するための、テクニックを修得する。	1通	60				○
○			カラーリング	色彩の基本理解と課題制作を通してファッションに対する意識と実践力を高める。色彩の知識と感覚(感性)をファッションビジネス業界に活用する。	1前	30				○
○			販売技術 I	ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。	1通	60		○	△	
○			販売技術 II	顧客ニーズの開発や顧客づくりを講義とロールプレイングにより修得し、販売職として必要な知識を講義とグループワークにて学ぶ。	2通	60		○	△	
○			販売技術 III	顧客ニーズの開発や顧客づくりを講義とロールプレイングにより修得し、販売職として必要な知識を講義とグループワークにて学ぶ。	2通	90		○	△	
○			服飾素材論 I	ファッションにおいて、もとなるアパレル素材の基礎知識を体系的に修得する。講義後、代表的な生地の特徴をレポートにまとめることにより理解を深める。	1後	30		○		
○			服飾素材論 II	繊維ごとに生地スワッチを収集。マップにまとめることを通じて、素材の機能性・風合いを修得する。アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。	1通	60		○		
○			ファッション史 I	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	1前	30		○		

○			ファッション史Ⅱ	服飾作品の最も基本である人間の身体に対する理解と人体表現の技法を習得する。また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。	2 前	30		○		
○			ショップマスター論	会社方針に基づき、自店の方針や予算を決定し運営展開を計画する為の、情報収集・分析力、マネジメント能力を修得する。	2 通	120		○	△	
○			商品製作Ⅰ	レディスウエアの基本アイテムである、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツ・の構造・製作工程を理解し、洋服に適した素材選択ができる。	2 通	180				○
○			商品製作Ⅱ	洋服の構造、製作工程、シルエットとパターンや素材の関連性等を理解し、ファッションアドバイザーとして、商品のシルエットやコーディネートの意味づけの説明ができる知識を習得する。	2 通	120				○
○			パターンメイキング	各アイテムの1/2製図 スラックス・ラグランスリーブの実寸製図とトワール作製。 各アイテムの基本製図とパターンメイキングを行うことで洋服の構造を理解し、お直しに対応する能力を身につける。	1 後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Point の基本操作を理解し、文書、表計算、プレゼンテーション書類の作成ができる。Adobe Illustrator Adobe Photoshop での画像、イラスト作成できる。	1 通	60				○ ○
○			コンピュータ演習Ⅱ	「コンピュータ演習Ⅰ」で学習した基礎的知識をさらに発展させ、活用力を身に付けショップ運営企画書を作成する。	2 前	30				○ ○
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2	20		○		
○			研究発表演習Ⅰ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	56				○
○			研究発表演習Ⅱ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	60				○

○		英会話	日常会話をベースに、ファッション関連の用語や表現法、ビジネス対応の会話等を、各状況を設定し、音読、ロールプレイを中心に展開。身近な話題で英語を話すことに慣れる。	2 前	30		△	○	
合計			25 科目	1816単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-2022		
目 的	ファッションをビジネス分野から捉えた場合の専門職種である、ファッションの流通・販売・販売促進のスペシャリストを養成する。また、キャリアの中で、商品企画や営業計画の立案に関わることを想定し、ファッション商品の企画から店舗の企画運営までの一連の流れも学習する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門課程	ファッションビジネス学科 ビジネスマスターズコース	2年(昼)	1816単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	630単位時間 (又は単位)	586単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	660単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数	202人	4人	19人	23人	

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 (有) (無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年始め：4月8日</li> <li>■ 夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■ 冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■ 学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 (有) (無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア</li> <li>■ サークル活動 (有) (無)</li> </ul>
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</li> <li>■ 就職率 92%</li> </ul>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 ファッション販売検定 等



<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 26 名 ■中退率 13 %</p> <p>平成24 年 5月1 日在学者 195 名 (平成 25 年4 月入学者を含む)</p> <p>平成25 年3 月31 日在学者 169 名 (平成 25 年3 月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a></p>

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	九十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00～12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションビジネス論	ファッションビジネスの商品企画の実際について演習する。	株式会社理喜

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅰ	ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識や商品知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。	1通	120		○	△	
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により修得する。	1後	90		○	△	
○			ファッションマーケティング&プランニングⅠ	市場分析マップを作成することによりビジネス企画書を作成し、プレゼンテーションする。グローバルな視野で市場を分析する力を身につける。	1通	90		△	○	
○			ファッションマーケティング&プランニングⅡ	グローバルな視野で市場を分析する力を身につけ、戦略型マーチャンダイジング出来るようにスキルをアップする。市場分析マップ作成、ビジネス企画書作成&プレゼン。	1通	60		△	○	
○			ファッションビジネス論	多様化するファッションビジネス形態、またそれらの製品の企画、生産、物流、販促、販売形態の違いを把握し、戦術型マーチャンダイジングできるようスキルアップする。	2通	120		○	△	
○			マーチャンダイジング論	マクロ分析に基づき戦略(コンセプト)を立て、あらゆる角度から戦略を成し遂げる為の戦術を学ぶ。社会 消費者の変化に対応するファッションビジネスの基本をビジネス企画プレゼンテーション、リアルショップ運営で身につける。	2通	120		△	○	
○			ビジュアル・マーチャンダイジング	テーマを決めMDターゲットを設定し、コンピューターを使ってビジュアル表現の企画、提案力を学ぶ。 1. イメージ表現 2. テーマ企画 3. デザインワーク 4. 実技の構成で、VMDのノウハウを修得する。	2通	120				○

○		ビジネスマナー I	社会人としての基本的なマナーを身につけると同時に立場に応じた正しい言葉づかいを理解し、色々な場面を想定した実践を通じて修得する。サービス接客検定 2級の資格取得を目指す。	1通	60		○	△	
○		ビジネスマナー II	・ 社会で必要なビジネス慣習や日々行われている仕事を詳しく知ることにより、就職活動に役立て内定に繋げる。 ・ 自分の立場や周りの状況を踏まえた上での自己表現ができ、職場で通用する社会人基礎力を身につける。 ・ サービス接客検定準1級を取得し、接客のプロとして即戦力になれるように学習する。	1前	30		○	△	
○		ファッションドローイング & デザイン I	IT社会に即応した商品企画に必要なアイデアやコンセプトを、平面画（アイテム画）やスタイル画に表現するための、テクニックを修得する。	1通	60				○
○		カラーリング	色彩の基本理解と課題制作を通してファッションに対する意識と実践力を高める。色彩の知識と感覚（感性）をファッションビジネス業界に活用する。	1前	30				○
○		販売技術 I	ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。	1通	60		○	△	
○		販売技術 II	商品そのものの価値だけでなく、商品購入までのストーリーやアフターケアまでを付加価値として提案出来る販売技術とショップマスターに必要なマネジメント能力を修得する。	1通	60		○	△	
○		服飾素材論 I	ファッションにおいて、もとになるアパレル素材の基礎知識を体系的に修得する。講義後、代表的な生地の特徴をレポートにまとめることにより理解を深める。	1後	30		○		
○		服飾素材論 II	繊維ごとに生地スワッチを収集。マップにまとめることを通じて、素材の機能性・風合いを修得する。アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。	2前	30		○		
○		ファッション史 I	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2前	30		○		

○			ファッション史Ⅱ	服飾作品の最も基本である人間の身体に対する理解と人体表現の技法を習得する。また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。	2 後	30		○		
○			商品製作Ⅰ	ブラウス・スカート・ワンピース・パンツを実物作品を製作することにより服作りの工程・素材・構造等を学ぶ。	1 通	180				○
○			商品製作Ⅱ	台襟付きシャツの構造を理解し、ファッションビジネスにおける洋服の製作工程を把握する。レディスブランドを企画し、企画書に沿ったデザイン・素材・製図・縫製を修得する	1 後	120				○
○			パターンメイキング	各種デザインの基本製図及び、パターンメイキングを理解する。サイズの知識・ファッションビジネス能力検定のパターン分野を習得する。	1 後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Point の基本操作を理解し、文書、表計算、プレゼンテーション書類の作成ができる。Adobe Illustrator Adobe Photoshop での画像、イラスト作成できる。	1 通	60				○
○			英会話	100%英語でコミュニケーションができるための基礎力を身につける。English-speaking cultures と日本文化の違いを言語とコミュニケーションの両方の分野で身につける。専門分野に関する英語でのプレゼンの基礎を習得する。	2 通	90		△		○
○			特別講義	企業の方や社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2	20				○
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	56				○
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				
○			トレーニングタイム	展示会等での作品発表に向けての製作と企画立案を行う。	1 前	120				○
合計				25 科目	1876 単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-2022		
目 的	ファッションをビジネス分野から捉えた場合の専門職種である、ファッションの流通・販売・販売促進のスペシャリストを養成する。また、キャリアの中で、商品企画や営業計画の立案に関わることを想定し、ファッション商品の企画から店舗の企画運営までの一連の流れも学習する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門課程	ファッションビジネス学科 スタイリストコース	2年(昼)	1816単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	340単位時間 (又は単位)	724単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	752単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数	202人	4人	19人	23人	

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 (有) (無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年始め：4月8日</li> <li>■ 夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■ 冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■ 学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 (有) (無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア</li> <li>■ サークル活動 (有) (無)</li> </ul>
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</li> <li>■ 就職率 92%</li> </ul>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 ファッション販売検定 等

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 26名 ■中退率 13%</p> <p>平成24年5月1日在学者 195名(平成25年4月入学者を含む)  平成25年3月31日在学者 169名(平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由  欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組  担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a></p>



## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00～12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00～18:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
スタイリストワーク	スタイリスト業務の実際について実習をとおして理解を深める	有限会社 遊心クリエイション

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションビジネス学科スタイリストコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅰ	ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識や商品知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。	1通	120		○	△	
○			ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	ファッションビジネスの流通を学び、スタイリスト・ショップスタイリストに必要なファッションビジネス知識を修得する。「ファッションビジネス理論と演習Ⅰ」にて修得した基礎知識を元に、マーケティングリサーチ、商品企画の実習を通して市場の動きを読み取る力と提案力を身につける。	2通	60		○	△	
○			スタイリング演習Ⅰ	現場に必要なスタイリストのスキルを実習撮影により学ぶ。シーズン毎のトレンドを把握する。	1通	120			○	
○			スタイリング演習Ⅱ	授業を媒体別に雑誌、広告、ショー、TV、WEBと細分化して現場に対応し、現場の即戦力になるスタイリストを目指す。	2通	120			○	
○			ビジネスマナーⅠ	社会人としての基本的なマナーを身につけると同時に立場に応じた正しい言葉づかいを理解し、色々な場面を想定した実践を通じて修得する。サービス接客検定 2級の資格取得を目指す。	1通	60		○	△	
○			ビジネスマナーⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で必要なビジネス慣習や日々行われている仕事を詳しく知ることにより、就職活動に役立て内定に繋げる。</li> <li>・自分の立場や周りの状況を踏まえた上での自己表現ができ、職場で通用する社会人基礎力を身につける。</li> <li>・サービス接客検定準1級を取得し、接客のプロとして即戦力になれるように学習する。</li> </ul>	2前	30		○	△	
○			カラーリング	色彩の基本理解と課題制作を通してファッションに対する意識と実践力を高める。色彩の知識と感覚(感性)をファッションビジネス業界に活用する。	1前	30				○

○		スタイリングデザイン I	IT社会に即応した商品企画に必要なアイデアやコンセプトを、平面画（アイテム画）やスタイル画に表現するための、テクニックを修得する。	1通	60					○
○		スタイリングデザイン II	コーディネート知識を深め、バリエーション豊かなトータルスタイリング提案が出来るよう、スタイリストに必要なスタイル画の表現方法を修得する。	2通	60					○
○		服飾素材論 I	ファッションにおいて、もとなるアパレル素材の基礎知識を体系的に修得する。講義後、代表的な生地の特徴をレポートにまとめることにより理解を深める。	1後	30				○	
○		服飾素材論 II	繊維ごとに生地スワッチを収集。マップにまとめることを通じて、素材の機能性・風合いを修得する。アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。	2後	30				○	
○		ファッション史 I	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	1前	30				○	
○		ファッション史 II	服飾作品の最も基本である人間の身体に対する理解と人体表現の技法を習得する。また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。	2前	30				○	
○		スタイリング造形 I	将来的にスタイリストを含むアパレル商品を扱う職に就く為に、洋服の扱い方やアイロンの当て方や「お直し」に必要な知識を身につける。	1通	180					○
○		スタイリング造形 II	スタイリストとして現場で必要な縫製技術・補正技術の基本を学ぶ。また、イメージに合うスタイリングを作る為のリメイク・小物作りを、ファッションショーや撮影準備を通し修得する。様々なオファーに対応できるスタイリング製作能力を修得する。	2通	120					○
○		メイクアップ&ヘアスタイリング I	shuueimura のカリキュラムによる、メイクの基礎技術、基礎知識の習得。	1通	92					○
○		メイクアップ&ヘアスタイリング II	ヘア&メイクの基礎的な技術、肌や骨格の理解、個々のトータルスタイリングの表現力の向上を目指し修得する。	2通	120					○
○		パターンメイキング	各種デザインの基本製図、およびパターンメイキングを理解する。サイズの知識・ファッションビジネス能力検定パターン分野を修得する。	1後	30					○

○			コンピュータ演習 I	Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Point の基本操作を理解し、文書、表計算、プレゼンテーション書類の作成ができる。Adobe Illustrator Adobe Photoshop での画像、イラスト作成できる。	1 通	60			○	
○			コンピュータ演習 II	スタイリストとして就職する上で必要なポートフォリオを作製。撮影作品、ショーで発表した作品の写真をレタッチし、データ化する。	2 後	60			○	
○			ネイルアート	ネイルケア&アートの基礎知識と基本技術を実習を通して修得する。	1 通	60				○
○			英会話	日常会話をベースに、ファッション関連の用語や表現法、ビジネス対応の会話等を、各状況を設定し、音読、ロールプレイを中心に展開。身近な話題で英語を話すことに慣れる。	2 後	30		△	○	
○			特別講義	企業の方や社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2	20			○	
○			研究発表演習 I	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	56				○
○			研究発表演習 II	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	60				○
○			着物コーディネーション	スタイリストに必要な和装知識ときものの着付けを学ぶ。	1 前	28	△		○	
○			スタイリストワーク	ファッションスタイリングにおけるマナー・常識を習得する。パーソナルに合うスタイリング提案、シーンあわせたスタイリング方など、表現方法の一つとしてのファッションの活用法を学ぶ。	2 通	120	△		○	
合計				27 科目	1816単位時間					